

中和地区3市1町障害者自立支援協議会  
令和5年度 第1回相談支援部会 会議録

日時：令和5年6月6日（火）10:00～  
開催場所：大和高田市役所 5階会議室

出席者：中和圏域マネージャー、葛城市社会福祉協議会、生活支援センターなっつ、相談支援センターふ  
わら、香芝市社会福祉協議会、青垣園、生活支援センターもちつもたれつ、生活支援センターし  
え〜く、葛城育成会、大和高田市社会福祉課、葛城市社会福祉課、香芝市社会福祉課 まんだら  
トポス（敬称略）

見学者：大和高田社会福祉協議会3名

欠席者：広陵町社会福祉課、どんぐり

【内容】

① 自己紹介及び部会長交代

- ・年度初回のため市町村、各事業所職員自己紹介。
- ・部会長交代…昨年度の部会長阪本氏が県の仕事優先のため、任期2年の2年目であるが今年度は葛  
城市社会福祉協議会高橋氏へ交代となる。
- ・高橋氏の挨拶。

② 各連絡会の報告等

○大和高田市…5月12日連絡会開催。5月26日、市内の相談支援事業所14事業所の内、12事業所  
が参加。葛城市役所、葛城市社会福祉協議会見学された。

まず、行政の説明ということでモニタリングの制度について基本的なことを再確認の資料配布。コ  
ロナが5類になったことで関係資料配布。

グループ分けして、テーマは「相談支援を行う上での困りごと等」を話ししてもらった。

<参加者の感想>

- ・グループは障害児と障害者に分かれていて、障害児では学校との連携が難しいと感じた。
- ・普段は特定相談支援事業所と顔を合わすことはなかったので、色々な意見が聞けた。
- ・計画の難しさや事業所の運営等を真摯に話されていてよかった。
- ・市町村によってサービス等利用計画のルールが違うので混乱している。
- ・特定相談支援事業所の数が少ない。
- ・和やかな雰囲気で開催された。

○葛城市…5月16日に連絡会議開催。今年度1回目なので、葛城市における障害の現状の共有とし  
て、障害者手帳所持者の数、障害福祉サービス利用状況等のここ5年間の推移の資料配布。  
年度の連絡会議の進め方について協議。各市町の充実を図るにはどのようにしていけばよいか話し、  
相談支援事業所の参加については賛成の意見が多数であった。賛成の理由として様々な事業所が参

加することにより、意見や情報交換ができ有意義なものになる。ただ一部の事業所だけに声をかけするのは不公平になってしまうので、声をかけるときはすべての事業所に行い公平性を保つべき等の意見あり。

今年度は5回の開催予定なので、全大会のように年一回、事業所に声をかけして開催することを検討している。

#### ○香芝市・広陵町

今年度から香芝市と広陵町が合同で、相談支援連絡会を6月19日第1回開催予定。

香芝市、広陵町の相談支援事業所参加予定。今後は2ヶ月に1回の開催で1回目は方向性を決めたい。

#### ③ 部会の方向性（組織再編）及び各連絡会のありかた

##### ・相談支援体制づくりを目的とした「人材育成部会」への改変

経緯として、地域での相談支援体制を整えていくにあたり、人材不足は各事業所が抱えている課題。新しい人材が育っていくベースがこの地域には薄いので、委託相談支援事業所が協力して、地域の人材育成部会として活動していく方向。

連絡会の在り方として、現状はそれぞれの地域課題を部会で話しても終わってしまう。

連絡会の充実させるためには個々のケースから市町の課題に焦点をあててワーキングチームを作り、それに対し関係者で集まって、話し合いをしたりして、地域の体制整備を広げる。

相談支援従事者初任者研修の中でインターバル実習があるので、相談支援部会、相談支援事業所が受講生にアドバイスを行う。自立支援協議会を知るという課題があるのでこの地域内の受講者は参加することになり、地域での人材育成が必要となるため「人材育成部会」に名前を変更する1年になればと提案した。

##### ・相談支援従事者初任者研修実地研修の受け入れ

令和5年度奈良県障害福祉サービス人材育成研修スケジュール

→日程表は配布資料参照

相談支援従事者初任者研修インターバル実習について

→配布資料参照

3市1町の受講者の人数は、確定后市町村に伝える。

7月11日オンラインで市町村説明会開催予定。

実習は受講生の所属する事業所内で実施。

#### <質疑応答>

##### ・インターバル実習は主任相談支援専門員に来るのか？

→今年度はない。主任相談支援専門員の人数が各地域に確保されてから。

##### ・自分の事業所に受講生が居ない場合は、実習者はいないということでもいいのか？

→そのとおりで、自立支援協議会等の見学で質問等の対応をして頂きたい。新規の事業所に受講生が居る場合はどこに実習に行くのか決まっていない場合は既存の事業所に実習を依頼することがある。3市1町の範囲以内を想定。自立支援協議会のない近隣市町の依頼もある。

- ・支援力向上に向けた GSV について

→配布資料参照

PCAGIP 法とは、問題を解決するのではなく、他者の意見を聞き考え方の発想を活性化させていく方法。相談支援部会で実施し、その後は各連絡会で広げていくことを想定している。10月に受講生見学時期に実施して意見求めてもいい。まずは今年度、8月又は10月に実施する。

④ その他（今年度研修内容アンケート）

- ・事前アンケート配布資料参照

追加…「介護保険と障害福祉サービスの連携」

- ・地域拠点プロジェクト

→調査しても3市1町では作成しにくい。

各連絡会でテーマにして作成してほしいと部会長が説明する予定。

基幹相談支援センターが必要。相談支援の充実、体制、整備が必要。

- ・医療ケアの通所介護事業所と児童の事業所との合同研修の福島県の事業所の資料回覧。

以上

次回開催日時：令和5年8月1日（土）10:00～ 大和高田市 5回会議室6・7にて